

散り椿 (2018)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 112分
初公開日 2018/09/28
公開情報 東宝
映倫 G

【キャッチコピー】

ただ、愛のために――

【解説】

日本を代表する名カメラマン木村大作が「劔岳 点の記」「春を背負って」に続いて3度目の監督を務め、直木賞作家・葉室麟の同名小説を映画化した本格時代劇。藩の不正を訴えたばかりに、逆に藩を追われた主人公が、亡くなった妻から託された最期の願いを胸に、再び過去の因縁に愚直に立ち向かっていく凛とした姿を、激しい殺陣を織り交ぜつつ美しい映像で描き出す。主演は「海賊とよばれた男」「関ヶ原」の岡田准一。共演に西島秀俊、黒木華、池松壮亮、麻生久美子、奥田瑛二。

享保15年。かつて故郷の扇野藩で平山道場・四天王の一人と謳われた剣豪・瓜生新兵衛は、藩の不正を糾そうとして失敗し、放逐された過去を持つ。そんな浪人となった新兵衛に連れ添い続けた妻・篠が病に倒れてしまう。篠は新兵衛に対して“采女様を助けてほしい”と最期の願いを託す。采女は新兵衛にとってのかつての親友にして恋敵であり、不正事件をめぐる因縁の相手でもあった。篠の願いを受け、扇野藩へと戻ってきた新兵衛は、不正事件の真相を突き止めるべく奔走するのだが…。

【クレジット】

監督 木村大作
製作 市川南
プロデューサー 上田太地
佐藤善宏
臼井真之介
共同製作 吉崎圭一
藤島ジュリーK.
大村英治
杉田成道
林誠
堀内大示
宮崎伸夫
広田勝己
松田誠司
板東浩二
吉川英作
田中祐介
安部順一
東実森夫

	井戸義郎	
	忠田憲美	
	吉村康祐	
原作	葉室麟	『散り椿』（角川文庫刊）
脚本	小泉堯史	
撮影	木村大作	
美術	原田満生	
衣裳	大塚満	
編集	菊池智美	
キャストイング	田端利江	
音響効果	佐々木英世	
音楽	加古隆	
製作担当者	鈴木嘉弘	
監督補佐	宮村敏正	
撮影補佐	坂上宗義	
録音	石寺健一	
照明	宗賢次郎	
装飾	佐原敦史	
殺陣	久世浩	
ヘアメイク	泉宏幸	
床山	大村弘二	
馬術	砂田一彰	
出演	岡田准一	瓜生新兵衛
	西島秀俊	榊原采女
	黒木華	坂下里美
	池松壮亮	Sosuke Ikematsu 坂下藤吾
	麻生久美子	瓜生篠
	緒形直人	篠原三右衛門
	新井浩文	宇野十蔵
	柳楽優弥	平山十五郎
	芳根京子	篠原美鈴
	駿河太郎	坂下源之進
	渡辺大	千賀谷政家
	石橋蓮司	田中屋惣兵衛
	富司純子	篠原滋野
	奥田瑛二	石田玄蕃